

西大和つうしん

2022年11・12月号
No.470



鈴鹿のマッターホルン「鎌ヶ岳の雄姿」《2022.9.11》

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第470号 (2022年11・12号)

【目次】

11 月度山行計画.....	2
12 月度山行計画.....	3
11・12 月度カレンダー.....	4
山行・行事等参加メモ.....	5
山行報告	
・自主山行 《8/18-20》 両白山地 白山（佐々木・玉野）.....	6
・例会山行1 《8/28》 台高山脈 大台ヶ原・日出ヶ岳（永井）.....	7
・例会山行1 《9/4》 室生山地 龍鎮溪谷（野路）.....	8
・例会山行2 《9/11》 鈴鹿山脈 鎌ヶ岳（野路）.....	9
・自主山行 《9/11-14》 北アルプス 五竜岳～唐松岳（橋本・上田）.....	10
・県連行事 《9/16》 台高山脈 大台ヶ原・正木ヶ原（永井）.....	12
・例会山行2 《9/25》 野坂山地 賤ヶ岳（玉野）.....	13
・自主山行 《10/1-4》 上信越 高妻山・戸隠山（島崎）.....	14
2022 年度第1回運営委員会議事録.....	16
室内例会だより（9/17）.....	17

11 月 度 山 行 計 画

～近鉄元山上口から千光寺、信貴山・朝護孫子寺へ！！

寅年なので信貴山参拝です～

公開山行

例会山行1 生駒山地 《千光寺～信貴山》

【日 程】11月6日（日）（L島崎）

※ 参加者はリーダーまで申込み（10月23日締切り）

【集 合】近鉄王寺駅（生駒線）8:00

【交 通】王寺 8:05⇒8:26 元山上口

【コース】元山上口駅～千光寺～鳴滝峠～十三峠～信貴山～朝護孫子寺～信貴山下駅

※ 歩行時間：約5時間40分（休憩含まず）

※ 本山行は、公開山行です。お知り合いや友人で山行に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、積極的に誘ってください。

※ 電車・車に拘わらず、登山口まではマスク着用をお願いします。

～岩稜帯のプチ縦走！！～

険しい岩場が続く登山道ですが、ゆっくり歩き楽しみたいと思います

例会山行2 播磨の山 《七種槍 577.1m～七種山 683m》

【日 程】11月13日（日）（L橋本）

※ 参加者はリーダーまで申込み（10月30日締切り）

【集 合】上牧町役場前駐車場 6:00

【コース】青少年野外活動センター脇登山口～七種槍山頂～小滝林道との分岐～七種山山頂～七種の滝～作門寺山門前駐車場～青少年野外センター

※ 歩行時間：約5時間30分（休憩含まず） ※ 歩行距離：約9km

4度目の正直！！ またまた計画します。行きたいです。

～久しぶりに地図を片手に歩きましょう！！～

地図読み山行

例会山行2 室生山地 《初瀬山～巻向山》

【日 程】11月27日（日）（L野路）

※ 参加者はリーダーまで申込み（11月15日締切り）

【集 合】近鉄長谷寺駅 8:00（新王寺 7:04 発／五位堂 7:35 発）

【コース】長谷寺駅～初瀬山～高山神社～巻向山～黒崎～大和朝倉

※ 歩行距離：約11km

※ 地図・磁石必携

コースは変更もあります。

12 月 度 山 行 計 画

～吉野山最高峰“青根ヶ峰”から晩秋の吉野山を歩きます～

例会山行2 大峰山脈 《吉野山・青根ヶ峰 858m》

【日 程】12月4(土) (L上田)

※ 参加者はリーダーまで申込み(11月20日締切り)

【集 合】近鉄大和上市駅 8:20(大和上市駅から8:30発のバスに乗ります)

【コース】大滝～(120)～青根ヶ峰～(20)～金峰神社～(20)～高城山展望台～(50)～
金峰山寺蔵王堂～(40)～吉野駅

※ 歩行時間：約4時間10分(休憩含まず) ※ 歩行距離：約12km

～のんびり晩秋の低山歩きを楽しみましょう！～

観音岩からは大阪平野が一望できます！！

体験山行対象

例会山行1 生駒山地 《国見山～交野山》

【日 程】12月11(日) (L岩田)

※ 参加者はリーダーまで申込み(11月27日締切り)

【集 合】JR王寺駅 8:15 または JR河内磐船駅 9:30

【交 通】王寺 8:24⇒8:37 久宝寺 8:41～8:56 放出 9:02～9:19 河内磐船
(JR大和路線・おおさか東線・学研都市線経由)

【コース】JR河内磐船駅～住吉神社～(かいがけの道)～龍王山～旗振山～交野山～白
旗池～国見山～JR津田駅

※ 歩行時間：約4時間(休憩含まず) ※ 歩行距離：約10km

※ 本山行は、一般参加可能な山行です。お知り合いや友人で山行に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、積極的に誘ってください。

～霧氷を見に行きましょう！！～

例会山行2 台高山脈 《高見山 1,248.4m》

【日 程】12月17(土) (L杉森)

※ 参加者はリーダーまで申込み(12月3日締切り)

【集 合】上牧町役場前駐車場 7:00

【コース】杉谷登山口～(60)～小峠～(30)～大峠～(50)～高見山～(40)～大峠～(30)～
小峠～(45)～杉谷登山口

※ 歩行時間：約4時間15分(休憩含まず) ※ 歩行距離：約8km

西大和山の会 カレンダー

11月			12月		
1	火	県連理事会	1	木	
2	水		2	金	
3	木		3	土	
4	金		4	日	例会山行2《青根ヶ峰》(上田)
5	土		5	月	
6	日	公開山行・例会山行1《千光寺～信貴山》(島崎)	6	火	県連理事会
7	月		7	水	
8	火		8	木	
9	水		9	金	
10	木		10	土	
11	金		11	日	体験山行・例会山行1《国見山～交野山》(岩田)
12	土		12	月	
13	日	例会山行2《七種槍～七種山》(橋本)	13	火	
14	月		14	水	
15	火		15	木	
16	水		16	金	
17	木		17	土	例会山行2《高見山》(杉森)
18	金		18	日	西大和つうしん原稿締切
19	土		19	月	
20	日		20	火	
21	月		21	水	
22	火		22	木	
23	水		23	金	
24	木		24	土	
25	金		25	日	12月度室内例会・忘年会
26	土		26	月	
27	日	例会山行2《初瀬山～巻向山》(野路)	27	火	
28	月		28	水	
29	火		29	木	
30	水		30	金	
			31	土	

山行報告

自主山行 両白山地 白山 2,702m

【日程】8月18日(木)～8月20日(土)

【参加者】L 杉森・S L野路・藤井・島崎・杉村・亀高・上田・岩田・佐々木・玉野(10名)

8月18日(木) 曇り時々小雨 別当出合～南竜山荘

【コースタイム】佐味田川(4:00)⇒駐車場(10:57)～別当出合(11:06/16)～中飯場(12:12)～別当覗(13:13)～甚之助避難小屋(14:15)～南竜道分岐(15:05)～エコライン分岐(15:30)～南竜山荘(15:50)

待ちに待った白山への夏山登山、3年目にして実現することができた。毎年、色々と準備はしていたつもりだったが、やはり実際に体験してみなければわからない事ばかりだった。

1日目、急な出発時間の変更と、着いたその日に登ると言う変更、かなり慌てたが天候不安定の中、朝4時に出発する。移動中、車のワイパーも追い付かない程の土砂降りの大雨で、どうなるのか不安だったが晴れると信じるしか無かった。別当出合に着いたが、外は出発の準備が出来ない程の雨。先に昼食を済ませ待機していると、「あっ！雲の切れ間に光が！」皆、今だとばかりに着替えて出発した。本当に少し待った甲斐があり、グッドタイミングだった。

登山道は整備されている所が多く登山客の多さを感じた。吊り橋を渡り階段状の石段も低く登りやすく、花々もあちらこちらに咲いていて、花の名前を教えてもらいながら楽しく進む事が出来た。だが、私は途中何度も足が攀って休憩をやむなくする事になり皆に迷惑をかけてしまった。これが無ければ、もっと早く南竜山荘に着いていただろう。これは自分の準備不足で、初めは毎週低山に登っていたのだがこの二週間、殆ど運動をしなかったのが原因だと思う。荷物も皆に分けて持って頂き本当に申し訳なかった。



山小屋では思ったよりぐっすり寝る事が出来たが、余りに早い消灯で朝も真っ暗で戸惑ってしまった。全て初めての体験だったが次回の夏山山行に生かしたいと思います。

(記：佐々木喜代美)

8月19日(金) 晴れ 白山御前峰～お池巡り

【コースタイム】南竜山荘(5:40)～エコライン分岐(5:54)～砂防新道合流点(7:03)～室堂(7:25/45)～御前峰(8:40/9:00)～紺屋ヶ池(9:40)～翠ヶ池(9:52)～干蛇ヶ池分岐(10:13)～室堂(11:16/48)～黒ボコ岩(12:18)～南竜道分岐(13:12)～甚之助避難小屋(13:37/50)～別当覗(14:33)～中飯場(15:22)～別当出合(16:20)～駐車場(16:35)⇒民宿はくれい荘(17:20)

夜7時過ぎからうとうとしたのに、夜中12時頃からお腹が痛くなり朝4時頃までに3度トイレに行く。頭も痛く吐き気もあり、高山病か熱中症だと思った。サブリーダーのNさんに相談して胃薬と鎮痛剤（Nさんに頂いた）を飲む。出発を30分か1時間遅らせるとの事。私の為に本当に申し訳ないと思った。もっと早く言えば出発を遅らせずに済んだのにも思った。Sさんが来られて、指を入れて全部吐いた方が良く、その通りにすると吐き気は治まった。山小屋の部屋の窓から見る朝焼けは素晴らしかったが、初めての山小屋泊は苦い思い出になった。



南竜山荘を5時40分に出発し、エコーラインを歩く。この日は快晴で途中何度も振り返り皆で北アルプスを眺める。室堂に着きザックを置いて、水分、軽食、貴重品をSさんに持ってもらい山頂を目指す。山頂も景観が素晴らしく各々写真を撮る。お池巡りでは翠ヶ池がエメラルドグリーンの様な色で見入ってしまう程でした。イワヒバリも可愛く人を怖がらない



ので結構近くで見ることが出来ました。室堂に戻りお昼休憩でしたが、山荘から頂いたおにぎりは食べれず、レモンケーキとお煎餅を食べました。室堂を出発し、黒ボコ岩を通りひたすら下山する。歩いて歩いて歩いて別当出合は遠かった。Fさんには着替えの荷物を最後まで持ってもらい助かりました。

連日山行の感想はせめて最初から最後まで自分の荷物を持てるようにならないと、「立山に行きたいです。」などと言ってはダメだと思いました。これからは、日帰りの山行で荷物を少しずつ重たくして行って、日々鍛錬を心がけたいと思いました。（記：玉野和恵）

例会山行1 台高山脈 大台ヶ原・日出ヶ岳 1,595.1m

【日 程】8月28日（日）曇り後晴れ

【参加者】L玉野・SL藤井・島崎・杉村・亀高・杉森・永井・佐々木・前田（会員9名・一般1名 合計10名）

【コ-スタイム】大台ヶ原駐車場(8:28)～日出ヶ岳(9:10)～正木ヶ原(9:50/10:02)～牛石ヶ岳(10:30/11:00 昼食)～大蛇ヶ岳(11:18)～シオカラ谷吊橋(12:20/30)～大台ヶ原駐車場(13:10)

駐車場に着くと、もうすでに多くの車がある。さすが人気の山だ。吉野熊野国立公園の東大台の周回コースを行く。百名山でもあり、木の階段や木道が綺麗に整備されている。日出ヶ岳山頂や展望台では霧が立ち込め何も見えない。正木ヶ原へと続く木道を行くと、やっと晴れ間が見えてきて笹の草原の中に立ち枯れの風景が浮かび上がる。近年は鹿が増え食害が

広がり、立ち枯れに拍車がかかっている。鹿の食害を防ぐため、樹木を網で囲ったり植樹したりして環境保全に力を入れている。9月には奈良県連主催の自然保護活動を行なうことになっている。

牛石ヶ原の神武天皇像の前で昼食タイムとなる。神武東征の道案内をしたという八咫鳥(ヤタガラス)は3本の足を持つ。行者の修験場であった大蛇岨のスリリングな断崖から、迫力ある大峰の山々が一望できた。目がくらみそうになる。シオカラ谷の吊り橋でしばし休憩し、最後の登りを経て駐車場に着いた。(記：永井章夫)



例会山行1 室生山地 龍鎮溪谷

【日程】9月4日(日) 晴れ

【参加者】L勝尾・SL藤井・島崎・杉村・橋本・亀高・野路・佐々木・玉野・前田
(会員10名・一般1名 合計11名)

【コース】近鉄室生口大野(9:27)～室生ダム(9:52)～龍鎮の滝(神社)(10:15)～荷坂・室生分岐(10:57)～東屋(12:08/43 昼食)～室生寺バス停(13:18)

不安定な天気が続き心配していたが、良いお天気に恵まれた。9月と言え厳しい残暑の中室生ダムまで歩く。今年は雨が多い・・・の印象であったが、ことのほかダムの水量は少なかった。登山道に入ると意外に涼しく、時折爽やかな風が心地よく頬をなでる。暫く進むと川の畔に、龍鎮神社の小さな祠と滝が現れる。古くから、龍神が宿る場所として神聖視されてきたようだ。今から400年ぐらい前、安土桃山時代に、龍神を鎮めるため、雨乞いをするために創建されたと言われており、「雨ごいの龍神、高麗の神(たかおのかみ)」をお祀りされているようです。



ここは「やまとの水100選」にも選定されている。流れは緩やかで優雅に流れている。龍鎮の滝は小さいがエメラルド色をしていて、なんとも神秘的なパワースポットである。いくつ



かの小さい滝と、岩場の間を縫うように、清流が流れているほとりを進むと、徒渉する所が何か所か現れた。渡りやすい場所を探して渡るが、ここしばらくの雨で水量も多く、滑らないよう慎重に渡る。

東屋の下で昼食をすませた後は登りもなく、ゆるやかな里山の歴史道を室生寺へと下る。

少しスリルがあって面白い徒渉歩き、苔むした神秘的な雰囲気のパワースポット、どこか別世界へと通じるような溪谷・・・また歩いてみたいと思った。

(記：野路政子)

例会山行2 鈴鹿山脈 鎌ヶ岳 1,161m

【日 程】9月11日(日) 晴れ時々曇り

【参加者】L 亀高・S L 島崎・藤井・野路・杉森・永井・玉野(7名)

【コース】宮妻峡キャンプ場(7:55)～カズラ谷登山道分岐(8:02)～水沢登山口(8:40/50)～水沢峠(9:52)～水沢岳(10:30)～キノコ岩(10:48)～鎌尾根(11:20/47 昼食)～岳峠(12:55)～鎌ヶ岳(13:12/22)～岳峠(13:30)～雲母峠分岐(13:58)～登山道分岐(15:14)～宮妻峡キャンプ場(15:21)

宮妻峡キャンプ場から歩き出す。下山のカズラ谷コースとの合流地点を過ぎ、登山口までアスファルトと林道歩きがかなり長かった。

休憩していると、足元に蛭が踊っている!! びっくり!! 皆で取ったり取り合ったり、歩き出すまで暫く大騒ぎ。水沢登山口から、ガレ場の歩きにくい沢沿いを登って行く。トラバース道、右手は深い沢で滑落したら間違いなくケガを、あるいは運悪ければ・・・。また足元は濡れていて滑り易く、水沢岳まではかなりの急登と、足元の悪いコースであった。



水沢岳を過ぎると、奇岩の面白いキノコ岩が現れる。急勾配のザレ場を慎重に下り、鎌尾根の手前で昼食タイムをとる。長めの昼食と、休憩をして体力を回復し、アップダウンの続く鎌尾根に臨む。痩せ尾根、鎖場、岩場と変化に富んだ面白いコースであり、鎌ヶ岳山頂まで続いた。岳峠からカズラ谷コースへと入る。少し長い下りであるが、歩きやすい登山道。登山口間近になるとカズラ滝が現れ、小さいが美しい流れに疲れも癒された。まもなくゴール。

ヒヤリハット

- 水沢谷コースのトラバース中に、ザレ場で、少し崩落しているところで、つかんだ枝が枯れていたため、谷の方に少し転げた。転げた下は深い谷であった。
- 鎌尾根の最終に近いザレ場で、不安定なところに足を置いてしまい、バランスを崩して、谷側に少し転げた。転げた下が崖であった。

たかが転げた・・・だけでなく、私達全員が今一度、自分の行動を顧みたいと思う。事故は、大きな間違いによって、起こるものだけではなく、ちょっとした不注意からくるものも多く、しいてはそれが大きな事故に繋がることもあり、登山中は出来る限り、慎重に一步、一步と進むことが大切・・・と再認識した。
(記：野路政子)

自主山行 北アルプス 五竜岳 2,814m～唐松岳 2,695.9m

【日 程】9月11日(月)夜発～9月14日(水)

【参加者】L橋本・上田(2名)

9月12日(月)晴れ時々曇り 五竜とおみ駅～遠見山を辿り五竜山荘へ

【コースタイム】五竜とおみ駅(8:20 ゴンドラ)～リフト乗り継ぎ～地蔵の頭(8:45)～小遠見山(10:15)～中遠見山(10:45)～大遠見山(11:40/12:10)～西遠見山(12:53)～白岳(14:43)～五竜山荘(14:50)

出発一週間前位から天気予報のチェック。コロコロ変わる予報にいつも翻弄される。13日岩場を歩くので、その日さえお天気になればと思い実行した。

当日、早朝 JR 神城駅近くの高速バス停に着き、そこからタクシーでゴンドラ駅の「とおみ駅」へ。冬はスキー場で昔からこの辺りの中でも人気のグレンデ。ゴンドラ、リフトを乗り継ぎ、五竜岳の登山口の地蔵の頭から今日の宿泊地の五竜山荘を目指す。小遠見山付近まではトレッキング道でその先から本格的な登山



道となる。整備されているが階段がとにかく多い。気温も高く汗びっしょり。「ダイヤモンドトレイルを歩いているみたい」と愚痴をこぼす。高度を上げて行くと、木々の合間から五竜岳らしき山を望めた。「そうそう今は、北アルプスに来てるんだ！」と思い直し足を運ぶ。白岳直下は岩になっているが、そんなに険しくないが結構息を切らしながら登山荘に到着。どんとそびえる五竜岳。「明日登るよ。お天気になあれ」と祈った。山荘はこじんまりとした個室に入れて頂き、のんびりと過ごせた。
(記：橋本紀子)



9月13日(火) 晴れ 五竜岳～唐松岳

【コースタイム】五竜山荘(4:37)～五竜岳山頂(5:45/6:15)～五竜山荘(7:13/8:00)～白岳(9:15)～唐松岳山頂(11:48/12:15)～唐松岳頂上山荘(12:50)
(歩行時間は景色を見ながらゆっくりとりました。)

ご来光を見たくて4時起き、暗い登山道をヘッドライトたよりに山頂を目指す。静かな道の先にはポツポツと明かりが見えて何人か登っていくのがわかる。曇り気味ながら朝日が出始め山頂手前でご来光を見る。遠くに富士山が見えている。出発から岩稜を右左と蛇行しながら登る事約70分で頂上、いい眺めだ。360度見渡せる。すぐそばに双耳峰の鹿島槍ヶ岳と爺ヶ岳、その先に針ノ木岳、薬師岳、立山三山、そして剣岳、まだまだ高い山が並んでいるが名前がわからない。頂上で出会った人たちと言葉を交わし、楽しい時間を過ごし、小屋へ戻り、朝食。



五竜岳と唐松岳を結ぶ稜線の道は、人気の高い八方尾根と遠見尾根を結ぶコースとして、多くの登山者が登って来る。道は整備されていて歩きやすい。庭園のようなハイマツや樹林帯を歩き、何度か岩場を三点確保で上り、小休憩を繰返しながら展望を楽しんだ。しかし唐松岳に近づくころ牛首と呼ばれるクサリのかかる岩場があり、少々険しいので眺望はいいけど足元に注意しながら超えていく。ここでは景色を見る余裕はない。牛首をやり過ぎ唐松頂上山荘が見えてくると一安心。ヤレヤレ。



山荘に着いたのはまだお昼前、山荘にザックをデポし、唐松岳山頂へ15分ほど、白馬岳方面のキレットからの登山道が見える。八方尾根の下りの稜線と長野の町も見える。天気にも恵まれ、刺激的な岩登りあり、絶景あり、達成感あり。山荘に戻り北アルプス剣岳を見ながら遅めの昼食。夕食まで今日歩いてきた五竜岳、唐松岳、1日中見えていた剣岳を心行くまで眺めましょう。

(記：上田雅子)

9月14日(水) 晴れ 唐松岳～白馬村下山

【コースタイム】唐松山荘(6:30)～丸山ケルン(8:00)～扇雪溪(8:30)～八方山(10:15)～八方池荘(10:56)～リフト、ゴンドラ乗り継ぎ八方ゴンドラ乗り場(11:40)

今日も好天!! 唐松岳、正面には剣岳、立山三山、そして五竜岳。180度山並みが見渡せ東側は雲海に浮かぶ白馬三山絶景です。時間の許す限り展望を楽しみ下山する。以前来た際山荘直下の下山道は歩きやすかったが、今は石がゴロゴロと転がっていて崩れて細くなっている道もある。雨の為崩落したのだろうか? 木道が設置されパイプで手すりも付けられ滑落しないよう登山道が作られていた。八方大池までは本当に素晴らしい景色を堪能できる。白馬三山、不帰のキレットを見ていると、もう一度行ってみたいなあと思う。今回はタイトなスケジュールではなく、また、3日間お天気も良かったのでゆったりと山を楽しんだ。リフト、ゴンドラを乗り継ぎ、心地よい風にあたり来年の夏山に思いを馳せ無事下山した。

★共同装備でツェルトを持参した。今回女性 2 名でもし使用する事態になれば自分たちで張れるのか？ ただ持っているだけになってしまったらと思い、家で張る練習をした。実際山の中では最適な場所で張るとは限らない。いろんな場所で張る練習をしなければと痛感した。
(記：橋本紀子)



県連行事 台高山脈 **大台ヶ原・正木ヶ原**
自然保護委員会（大台ヶ原トウヒ林保全活動）
（県連と環境省・林野庁・上北山村との連携による森林再生応援団活動）

【日 程】 9月16日（金） 曇り後晴れ

【参加者】 L 永井・野路・玉野（会員3名・他会7名 合計10名）

【コース】 大台ヶ原ビジターセンター(10:00/30 受付・開会式)～正木ヶ原(11:30/12:15 昼食・説明)～作業場所(12:15/13:40 作業)～展望デッキ(14:00 記念撮影)～大台ヶ原ビジターセンター(14:35/15:00 閉会式)

今日は、大台ヶ原・大杉谷の森林再生応援団として、奈良県勤労者山岳連盟より有志 10 名が参加した。これは環境省と林野庁の管理・指導の下で行う、トウヒ林保護育成のボランティア活動である。

大台ヶ原と言えば立ち枯れの風景が目につくが、昭和 34 年の伊勢湾台風で森林が大きな被害を受けたことと、鹿の増加でトウヒ林の樹木が食害に遭い、立ち枯れに拍車がかかった。元々は緑豊かで苔むす深い森であったという。

10 時過ぎに大台ヶ原駐車場に着き、マイクロバスを降りるとひんやりとした空気。ビジターセンター前は既に多くの人が集まっており、我が部隊はやや遅刻！ 慌てて検温や受付を済ませるとすぐに開会式が始まり、挨拶と説明と写真撮影があり出発。

今日の作業は、稚樹保護柵内のササ刈りと母樹へのネット巻きである。ボランティアとして集まった 36 人を 2 班に分けそれぞれの作業に当たる。場所は正木ヶ原から正木峠の間の



木道沿いエリアだ。私はササ刈り担当だ。どうやら鎌とハサミが手違いで用意されておらず、しかたなく刃渡りの短いハサミで代用することになった。木道からササ原に降りて保護柵に向かう。ササ原はびっしりとミヤコザサというササに覆われ、地面が全く見えない。足を一歩ずつ確認しながら慎重に踏んで歩く。保護柵の中は狭くて2人しか入れない。あとの3人は柵の外側を刈る。稚樹を傷つけないように周りからササを刈っていく。ハサミの刃渡りが短いので時間がかかるし疲れる。今までササに覆われていたトウヒの稚樹が、解き放たれて大きく背のびしているようだ。

今回の保全活動に参加したことで、整備された登山道や生態系の維持は地道な活動に支えられているんだと思い、感謝の念を改めて感じました。
(記：永井章夫)



例会山行2 野坂山地 **賤ヶ岳** 421m

【日 程】9月25日(日) 晴れ

【参加者】L 杉村・S L 野路・藤井・島崎・杉森・佐々木・玉野(7名)

【コース】余呉湖観光駐車場(8:10)～スタート(8:24)～江土登山口(8:34)～岩崎山(8:44)～大岩山(9:17)～賤ヶ岳(10:24/11:30 昼食)～飯浦切通(峠)～公法寺山(12:08)～大平良山(12:54)～権現峠(13:21)～駐車場(14:42)

賤ヶ岳山頂に着くと右に余呉湖、左に琵琶湖が見え展望は素晴らしかった！登山道はほとんどが木陰で涼しい風が吹き、快適で歴史の勉強もでき、とても楽しい山行でした。

思ったより早めに着き支度をして登山口に向かう。初めは急登でしたが、岩崎山、大岩山、など寄りながら賤ヶ岳に向かう。10時半前に山頂に着き、右に余呉湖、左に琵琶湖、展望は素晴らしかった！登山者や望遠鏡を持った人々、三脚を立て望遠レンズを構えるバードウォッチングの方も多く、聞いてみると「鷹渡り」を見に来ているらしい。ボランティアガイドの方も2人おられて、賤ヶ岳の合戦や他の歴史の話をして下さった。お昼休憩をたっぷり1時間ちょっと取り出発。まだ今日は2リットルの水分も背負っているし、食後の登りはきつく感じた。余呉湖の西側をアップダウンしながらの休憩も入れて3時間ほどの歩きは、食後の運動にしては充分過ぎた。下山し大きな公園があったので、そこでもおやつタイム。素晴らしい展望と歴史の勉強も出来たとても楽しい山行でした。
(記：玉野和恵)



自主山行 上信越 高妻山 2,353m・戸隠山 1,904m

【日程】10月1日(土)～10月4日(火)

【参加者】L 島崎・野路(2名)

10月2日(日) 晴れ 戸隠牧場～高妻山

【コースタイム】戸隠牧場(6:10)～一不動(7:55)～五地藏(9:10)～六弥勒(9:30)～高妻山(11:45/12:25)～六弥勒(14:05)～戸隠牧場(16:20)

爽やかな朝、戸隠牧場内から登山口へ、しばらく沢沿いに登ってゆく。一枚岩の帯岩をトラバースし、不動岩の左岸を登り、源頭部に出る。急な沢を登り、一不動避難小屋に到着。尾根上を行くと、眼下に戸隠牧場が広がり、黒姫山・飯縄山を展望。五地藏山から分岐に出る。六弥勒・七薬師・八観音とアップダウンを繰り返すが、とにかくしんどい!! なんとか九勢至に到着。高妻山がまじかに迫っており、1本調子の登りが見渡せる。一步ずつ懸命に登って行く。歩みは遅いが、やっとの思いで山頂に到着。青



空のもと、展望は360度、眼前に北アルプス白馬岳・後方には火打山・妙高山と素晴らしい景色である。その後、おばさん4人(ガイド2人連れ)がやってきた。元気な人達だ!!

昼食を済ませ下山開始。意外と早く分岐に到着。ここから弥勒コースを下って行く。なかなかの急坂である。長い下山道を下って、やっと戸隠牧場へ下ってきた。とにもかくにも良く頑張ったものだ。約10時間半(休憩含む)の長い行程でした。とても疲れました!! (記: 島崎隆)

10月3日(月) 曇り時々晴れ 戸隠神社奥社～戸隠山

【コースタイム】戸隠神社奥社入口(5:45)～戸隠神社奥社(6:30)～八方覗(9:10)～戸隠山(9:30)～八方覗(10:00/20)～戸隠神社奥社(12:15)～戸隠神社奥社入口(13:10)

早朝、誰もいない参道を歩く。静寂の中、気持ちがいい!! 門よりさらに500m程の杉並木を歩く。戸隠神社奥社で参拝を済ませ神域を登る。戸隠山に至る登山道からは岩稜帯が見渡せる。表妙義山を思わせる。

百間長屋からは次々と鎖場があり登って行く。最後の胸突き岩は最大の鎖場の登攀である。登りきるといよいよ今回最大の見せ場である、蟻の塔渡りに出た。先に若い3人組(1人女性)が登攀中であり、どうゆう具合に渡るか参考にさせてもらった。やはりここは慎重に渡る、落ちれば一巻の終わりである。何とか渡り切ることができた!! 振り返れば、やはり細い。そして最後の鎖場を登りきると八方覗に到着。戸隠連山西岳(上級者ルート)、戸隠山の分岐になる。高妻山がまじかに見える。まもなく戸隠山に到着。休憩中1人の外人がやって来た。どこまで行くのかと聞くと、高妻山だそう。こちらはびっくり、若い(30歳)から行ける

か?? 兎に角軽装備である。我々は昨日行った。一不動に行くか・引き返すか検討後、時間節約の為、引き返す事にした。

下りの蟻の塔渡りは、一部足元が見にくいので登り以上に慎重に下る。緊張が高まる、渡り終わるとホッと一息!! 只、まだまだ無数の鎖場を下らねばならない。なんとか下って戸隠神社奥社に着いた。ここからの参道は朝と違って、人人が多い。ゆっくり歩き、戸隠神社奥社入口に到着、無事終了しました。今夜は以前から宿泊したいと思っていた、妙高・燕温泉ハイランドロッジ泊です。
(記：島崎隆)



2022年度第1回運営委員会議事録

【日時】2022年9月17日（土）15:00～16:00 リーベル王寺東館5階フリールーム1

【出席者】永井・亀高・野路・都築（記録）

運営委員会案件

1. 総会の準備は年明けにする。
2. 県連関係
 - ① 事故報告：7月1日 奈良労山 十津川において4名で沢登り中にコース誤認により1名が20m滑落し額を裂傷した。
 - ② 高見山避難小屋の修繕してほしいとの要請がきている。
 - ③ ワサビ谷私道については、シーズンのみ許可。
 - ④ 近畿ブロック搬出訓練を4月に予定しているが、奈良県連においては救助隊を廃止しているため技術の継承が問題である。
3. 会費の有効活用について
 - ① ココヘリ（年間約4,000円）については、検討の結果、自己責任であるので補助はしない。
 - ② 登山学校に派遣する場合、派遣費の補助を検討する。
 - ③ 冬用タイヤ補助は継続する。
 - ④ 懇親会については、会より以下の金額を補助する。また、担当者を持ち回りとする。
参加者が10人未満の場合、5,000円を補助
参加者が10人以上の場合、10,000円を補助
 - ⑤ 軽量のツェルトの購入を検討したが、すでに会に3つあることから購入しない。
4. その他
 - ① ホームページに記載されている年齢制限（65歳）を削除する。
 - ② 来期は役員改選になるので各自検討しておく。

室内例会だより

【日 時】2022年9月17日(土) 16:00~17:00 リーベル王寺東館5階フリールーム1

【出席者】永井、亀高、野路、橋本、上田、佐々木、玉野、都築(記録)

1. 山行計画

9月25日(日) 例会山行2 野坂山地《賤ヶ岳 421m》……………L 杉村
10月15日(土)~16日(日) 例会山行2 中国山地《大山 1,709m》……………L 杉森
10月30日(日) 例会山行1 《大洞山雌岳 985m・雄岳 1,013m~尼ヶ岳 957m》…L 藤井

2. 山行報告

6月5日(日) 例会山行1(県連主催グリーンハイク) 金剛山地《大和葛城山 958.8m》
L 杉森……………11名(内一般参加者1名)
6月19日(日) 例会山行2 大峰山脈《大普賢岳 1,779.9m~七曜岳 1,584m》L 野路…8名
6月26日(日) 例会山行2 鈴鹿山脈《国見岳 1,175.2m》L 島崎……………10名
7月10日(日) 例会山行2 台高山脈《天狗倉山 522m》L 永井……………10名
7月25日(月)~27日(水) 自主山行 中央アルプス《木曾駒ヶ岳 2,956m~空木岳 2,864m》
L 野路……………4名

3. 報告・連絡事項等

○懇親会(暑気払い)

2022年9月17日(土) 17:00~ 「おかとはま」7名参加。

○次回室内例会・懇親会

2022年12月18日(日)から12月25日(日)に変更。

西大和つうしん

第 470 号 (2022 年 11・12 月号)

2022 年 10 月 31 日発行

発行責任者 永井章夫

編集責任者 杉森英二

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

<https://nishiyamatoyama.sakura.ne.jp>